



安全互助会だより

第15号（令和4年8月20日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

第二道通ビル

TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201

URL <http://www.h-anzen.com/>



皆さんの健康と安全のために

理事長 海東 剛 哲

この度理事長に就任しました海東剛哲です。これまで安全互助会には評議員や常務理事として関わらせていただきました。これらの経験を活かし皆さんのお役に立てるよう努力する所存ですのでご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本会の共済事業の対象は、学校管理下の部活動や体育の授業、学校行事、通学中などで発生したケガが中心となっています。

コロナ禍による長期にわたる部活動や学校行事の自粛などにより、これまでのように運動する機会が減少したことの影響からか、昨年度は大きなケガは減少したものの、ケガ全体の発生件数は減少しませんでした。運動不足でなければ防止できたケガが多く発生したように思います。今後とも、運動時に限らず日常生活においてもケガの防止に留意して生活することが、必要であると思

ます。

今年度、安全互助会では新規事業として北海道高等学校体育連盟、北海道高等学校養護教諭研究会の皆さんと連携し、指導者や生徒を対象に、専門家によるケガ防止や健康保持などに関する講演会や実技指導を実施することにしました。詳細は本号に掲載していますのでご覧くださいとともに、積極的な参加をお願いしたいと思います。

安全互助会の共済事業はケガなどを被った場合に、共済金を給付することにより経済的な問題に直面することなく、できるだけ早期に通常の高校生活や社会生活を過ごせるようにする相互扶助の精神により成り立つものです。こうした制度を確立することは、皆さんそれぞれが、学習や部活動などを充実させるとともに、自己の将来に向かって力強く前進していくことにつながっていくものです。

今年度も、コロナに注意を払いながら、ご活躍ください。

■ 令和4年度 定時評議員会

令和4年度定時評議員会は、新型コロナウイルス感染症防止のため、道高P連全道大会が無参集映像配信型での開催となったことから、定時評議員会は5月21日に繰り上げて開催しました。

新井田理事長の挨拶後、議長に柳谷卓彦評議員、議事録署名人に中山亮評議員、岩間淳評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

- ・ 令和3年度事業報告及び収支決算の承認
事業報告では、引き続きコロナ禍による学校行事や部活動の自粛などにより、通常年に比較し発生件数、給付額の減少が報告されました。
- ・ 令和4年度事業計画及び収支予算の報告
2月17日（木）の理事会で決定された令和4年度の具体的な事業計画と収支予算について報告しました。
- ・ 評議員、役員（理事・監事）の選任
評議員、役員とも任期満了となったため、退任した評議員にかわり新たに評議員16名、理事9名、監事3名を選任しました。
- ・ 成年年齢18歳にともなう共済規程の変更
民法第4条が改正され、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにともない、共済金受取人の年齢を18歳以上に変更しました。

■ 新規事業がスタートします！

心身の健康を保持し、ケガなどを防止するには、正しい食事や睡眠での体調管理はもとより、身体の特徴に合わせた練習計画や、トレーニングやストレッチで筋力アップや柔軟性を高めることが必要です。

そのため安全互助会では、今年度、新規事業をスタートします。

ひとつは、生徒を対象とした専門家によるトレーニングやストレッチの実技指導です。専門のトレーナーからの実技指導を受けながら、正しい知識と技術を習得できるようプログラムを編成します。広く日常生活においても体調管理やケガ防止に役立ててほしいと考えています。

もうひとつは、部活動指導者や養護教諭等を対象とした女性アスリートの健康管理に関する講演会です。最近では女子生徒の身体のサイクルに配慮した運動や生活の在り方の重要性が唱えられることが多くなってきました。産婦人科医師や部活動指導専門家を招聘して実施します。

これらの新規事業については、今秋から実施する予定です。多くの皆さんの参加を期待しています。



■ 令和3年度共済金の給付状況

前年度から引き続きコロナ禍による臨時休校や、部活動の自粛などで給付件数、給付額とも減少しました。

共済金等給付総計	2,523件	31,203,800円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

○生徒への給付

死亡	0件	0円
障害	1件	650,000円

※ 幸いなことに令和3年度に学校管理下の死亡はありませんでした。

傷病	2,520件	30,353,800円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて毎月給付しています。実際に発生した災害の件数は1,726件でした。発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,154件、授業中426件、通学中91件、休憩中55件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカーで673件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中の426件で、そのうち352件は体育の授業中です。球技でのケガが多いですが、跳び箱やスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち60件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしている時のケガが多いですが、階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	447件
捻挫	288件
脱臼	72件
打撲・挫傷	216件
創傷	54件
靭帯損傷・断裂	312件
半月板損傷・断裂	68件
腱損傷・断裂	11件
歯牙破折	18件
その他負傷	60件
疾病	180件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、捻挫が続きます。疾病では、運動に起因するものが145件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは73件と多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。上半部は2割、頭頸部と体幹部は1.5割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足首、鼻、足・指と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	0件	0円
------	----	----

※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香料	2件	200,000円
----	----	----------

※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷病	0件	0円
------	----	----

※ PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、学校祭りの中止などもあり2年度の発生はありませんでした。

■ 令和3年度末財務状況

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,126,160	58,989,108	△ 3,862,948
現金預金(普通支払備金分)	916,600	656,800	259,800
現金預金(既発生未報告支払備金分)	13,859,567	15,298,691	△ 1,439,124
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	69,902,327	74,944,599	△ 5,042,272
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	80,127,345	50,127,345	30,000,000
責任準備金積立金	22,362,976	19,368,047	2,994,929
退職給付引当積立金	1,226,550	1,132,200	94,350
特定資産計	103,716,871	70,627,592	33,089,279
固定資産計	103,716,871	70,627,592	33,089,279
資産合計	173,619,198	145,572,191	28,047,007
II 負債の部			
1. 流動負債			
普通支払備金	916,600	656,800	259,800
既発生未報告支払備金	13,859,567	15,298,691	△ 1,439,124
未払金	0	0	0
預り金	207,724	109,575	98,149
流動負債計	14,983,891	16,065,066	△ 1,081,175
2. 固定負債			
準備金	80,127,345	50,127,345	30,000,000
責任準備金	22,362,976	19,368,047	2,994,929
退職給付引当金	1,226,550	1,132,200	94,350
固定負債計	103,716,871	70,627,592	33,089,279
負債合計	118,700,762	86,692,658	32,008,104
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	54,918,436	58,879,533	△ 3,961,097
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	54,918,436	58,879,533	△ 3,961,097
負債及び正味財産合計	173,619,198	145,572,191	28,047,007

■ 令和4年度加入状況(7月末現在)

○ 加入校 181校

○ 生徒 ・全日制 56,265人
 ・定時制 650人
 ・専攻科 240人
 生徒計 57,155人

○ 教職員 3,512人

○ 子弟が在学していないPTA 60人

総計 60,727人

※ 加入校は変更なしですが、加入生徒数で1,580人減少しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約164,000人です。

■ 令和4年度業務計画

4月5日	公認会計士監査
4月9日	監事監査
4月23日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
5月21日	定時評議員会
5月30日	3年度事業報告書提出（道教委へ）
7月15日	道教育長・道教委関係部局との懇談会
7月25日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会
7月30日	第2回理事会
8月	役員変更届（道教委へ）
8月20日	互助会だより第15号発行
11月11日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
11月	公認会計士監査 審査委員会
12月10日	第3回理事会
2月1日	「令和5年度共済事業の手引」発行 互助会だより第16号発行
2月17日	第4回理事会
3月	4年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、秋には1ページで紹介した新規事業を実施します。

■ 令和4年度健康安全普及啓発事業

各学校で実施されている生徒の健康安全に関する普及啓発活動となる講演会等の外部講師の謝金及び旅費について補助する事業です。

この事業は、平成30年度からスタートして5年目となります。各年度の実施数は次の通りです。

- ・平成30年度 8校
- ・令和元年度 10校
- ・令和2年度 12校
- ・令和3年度 17校
- ・令和4年度 17校（7月末）

※2、3年度は、コロナウイルスの関係で実施できなかった学校は含めていません。

年々増加傾向にあります。さらに多くの学校で、この制度を有効活用いただきたいと思います。

今年度17校から応募がありましたが、予算的に余裕があるため、追加で応募したい学校がありましたら、事務局までご連絡ください。

■ 令和4年度収支予算

《収入の部》 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
会費収入	81,970,000	85,418,500	△3,448,500
雑収入	275,000	275,000	0
準備金等戻入額	17,226,700	26,160,994	△8,934,294
収入合計	99,471,700	111,854,494	△12,382,794

《支出の部》

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
事業費	102,674,000	116,519,627	△13,845,627
共済給付事業費	54,200,000	57,200,000	△3,000,000
準備金等繰入額	25,156,183	32,528,744	△7,372,561
安全普及費	4,240,000	7,100,000	△2,860,000
広報事業費	3,140,000	3,040,000	100,000
助成事業費	1,200,000	1,500,000	△300,000
調査研究費	1,440,000	1,440,000	0
人件費	9,150,000	9,200,000	△50,000
需用費	3,750,000	3,700,000	50,000
雑費	397,817	810,883	△413,066
管理費	13,254,000	8,554,700	4,699,300
人件費	9,133,050	4,544,350	4,588,700
事務費	1,800,000	1,750,000	50,000
需用費	2,200,000	2,140,000	60,000
雑費	120,950	120,350	600
当期支出合計	115,928,000	125,074,327	△9,146,327
当期収支差額	△16,456,300	△13,219,833	△3,236,467
前期繰越収支差額	49,320,502	44,870,859	4,449,643
次期繰越収支差額	32,864,202	31,651,026	1,213,176

事務局から

- ・ 成年年齢が18歳に引き下げられたことから、本会の共済約款及び事業方法書の一部改正しました。改正後の規程は、ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

なお、共済金請求の手続きは保護者等（保護者及び成年年齢に達した生徒の親）が行うことから、これまでどおり振込先も保護者等の口座にすることは差し支えありません。

- ・ 共済金請求に必要な「第7号様式」が改正されました。ホームページからダウンロードして、新様式で請求してください。



保健室からこんにちは！！



『ほほど』を意識して」

北広島高等学校養護教諭
菅原 麻里子

北広島高校では毎年、生徒の睡眠状況や体調、学校生活、悩み、インターネットの利用状況等についてのアンケート調査を実施しており、生徒の健康課題把握の一助となっています。

例年「睡眠時間が短く、睡眠不足を感じている」生徒は一定数いるのですが、昨年の調査ではその割合が大きく増加しました。本校の生徒は、勉強も部活動も一生懸命頑張ります。ただ、その頑張りが睡眠時間を削ることにつながり、心身に不調をきたしてしまう生徒もいます。限られた時間の中ですべてを完璧にこなそうとする生真面目さがそうさせてしまうのだと思うのですが、心身の健康を保つためにも「ほほど」を意識し、自分なりの無理なく継続できるペースをつかめるようになってほしいと思っています。

ただ、自己肯定感が低かったり、自分に自信がない場合は「ほほど」の自分を受け入れることは意外と難しいようです。そのため保健室での対応では、他者からの評価を気にしすぎることなく「自分はこれでいい」と思えるような、そして生徒自身が気づいていない魅力や能力に目を向けられるような、そんなアプローチを常に心掛けています。

新型コロナウイルス感染症が発生してからの2年半は、学校生活にも様々な制限がありましたが、今年度はコロナ禍前とほぼ同じ内容で学校祭を行うことができました。在校生にとっては、初めての本来の形での学校祭でした。試行錯誤しながら、時には友達とぶつかりながら準備を進める姿、当日の盛り上がり、終了後の満足感や達成感に満ちた表情を見ていると、生徒の心身の成長にとって、学校行事は必要不可欠なものだと改めて感じます。

現在、北広島高校の周辺は北海道ボールパークの建設工事が進んでおり、周辺環境が大きく変化しています。まだまだ工事中で落ち着かないところもありますが、この壮大なプロジェクトが少しずつ形になっていく様子を毎日身近に感じられるのは、貴重な経験かもしれません。完成は来春ですが、すでに生徒会が中心となってボールパークや地域と連携した事業も企画されています。勉強だけではなく、学校行事や地域の方々との交流、部活動等、様々な経験が生徒達の視野を広げ、そして自信をつけることにつながることを願います。

令和4年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長	海東剛哲 (道高P連顧問・留萌)
常務理事	村井為敦 (道高P連会長・旭川東)
常務理事	高橋憲司 (道高P連副会長・苫小牧西)
常務理事	金井 禅 (道高P連副会長・札幌西陵)
常務理事	海老田憲人 (道高P連副会長・札幌新川)
常務理事	辻 麻紀 (道高P連副会長・江別)
理事	林 正憲 (道高校長協会会長・札幌北)
理事	駒井博和 (道高体連会長・札幌白石)
理事	堀川智恵 (道高養研副会長・札幌稲雲)

※ 常務理事等の業務担当

・運営総括担当	海東剛哲	理事長
・運営総括補佐担当	村井為敦	常務理事
・コンプライアンス担当	高橋憲司	常務理事
・リスク管理担当	海老田憲人	常務理事
・理事会等議事録担当	辻 麻紀	常務理事
・内部会計監査担当	金井 禅	常務理事

・監事

奈良賢祐	(道高P連監事・釧路北陽)
堀川貴庸	(道高P連監事・帯広南商業)
遠藤 卓	(道高P連監事・静内)

・評議員

福田 梢	(道高P連石狩支部・北広島西)
柏倉 正	(道高P連道南支部・函館工業)
森 禎樹	(道高P連後志支部・倶知安)
坂井みづほ	(道高P連空知支部・岩見沢西)
中澤恵子	(道高P連旭川支部・旭川西)
大石昌明	(道高P連留萌支部・留萌)
上野 純	(道高P連名寄支部・士別翔雲)
佐々木将貴	(道高P連北見支部・北見柏陽)
梶本直哉	(道高P連十勝支部・帯広三条)
森下 亮	(道高P連釧路支部・釧路工業)
清原孝志	(道高P連根室支部・中標津農業)
山端敬史	(道高P連胆振支部・苫小牧南)
吉津孝昭	(道高P連日高支部・浦河)
藤村 誠	(道高等学校長協会・札幌西)
大谷健介	(道高等学校教頭副校長会・札幌西)
岩間 淳	(道公立学校事務長会・石狩翔陽)

令和4年度 審査委員会委員

三戸和昭	(北海道医師会常任理事)
田西 亨	(北海道歯科医師会常務理事)
澤田慎也	(道高校長協会生徒指導委員長)
井口圭記	(札幌琴似工業高校PTA会長)
畠山美鈴	(札幌英藍高校PTA会長)